

みんなでまちを楽しもう

～家族のつながりを大切にしながら、「まち」や「社会」に参加します～



2 子育て世代

私たちは、子どもたちやおじいさん、おばあさんなど3世代の家族のつながりや、職場、友人などの仲間とのつながりを大切にしながら、家族や仲間ぐるみでまちにかかわったり、地域の活動などに参加して、積極的に外へ出て、まちで活動し、生活することを楽しみたいと思います。

(1) 助け合いの心、触れ合いの心がある地域社会に

親子の接する機会をなるべく多くして、家族のつながりを大切にしたいと思います。また、地域では、子どもを近所同士で預け合うことができるような、家族同士のちょっとした助け合いや身近なつながりのある地域社会の中で生活したいと思います。これからは、地域の枠にこだわらない、共通の価値観を持った人たちのつながりやネットワークづくり、国際化するまちの中で多民族・多文化が混ざり合ったコミュニティづくりも重要です。

(2) 身近に感じることのできる自然づくり

冒険遊びのできる公園づくりにかかわったり、参加し、自然と触れ合い、自然を学びながら緑を育てる場所をつくっていきたいと思います。また、鳥や花、川や魚などのワイルド（野性的）な自然、それを取り巻くきれいな空気や水のある環境の中で子育てをしたいと思います。





(3) 農地を子どもに触れさせたい

子育てに農業を取り入れることにより、自然や物づくりの素晴らしさを子どもに教えたいと思います。そのため、子供が農業に関われる場や機会を増やしたり、農地をビオトープにして、メダカやタニシなどと触れ合う場所にする必要があります。

(4) 家族で実践する環境教育

リサイクルや生ごみの堆肥化、雨水をガーデニングの水に利用するなど、環境に配慮した生活を家族で実践したり、ライフスタイルそのものをシンプルにして、環境問題を子どもに教えたいと思います。私たちのこのような実践が、昔のままのワイルドリバーや自然を取り戻すことにもつながります。

(5) 安心でだれでも自由に移動できるまち

子どもやお年寄りが自分の足で、自分のペースで自由に移動できる道づくり、循環バス網や自転車をもっと活用できる道づくりが必要だと思っています。

子育てや病気の時などには、自動車で移動することも必要不可欠ですが、快適な環境づくりのためには自動車を少なくする努力も必要です。自動車の乗り合いや低料金のタクシーやバスなどがあったら素敵です。





(6) まちの歴史を子どもに伝えよう

地域の祭りに積極的に参加したり、地域の語り部から子どもたちに生きた歴史を伝えてもらうなどして、子どもたちに歴史を伝えたいと思います。まちの中にゾクゾクしたり、宝探しができる場所を発見し、育みながら、古い建物などのまちの資産を使いこなしたいと思います。

(7) 子育てしやすく、高齢者にも便利なまちづくりを

託児所や病院が身近にあり、高齢者にとっても安全で買い物も便利な市街地があれば、脱コンビニ化のライフスタイルも可能となり、既存の市街地を住む場所として十分に活用できると思います。親子が中心市街地で遊んだり、買い物などをして楽しむために、市のシンボル空間をつくり出し、近鉄駅から中央通り、イメージチェンジした港までゆっくりと散歩したいと思います。

